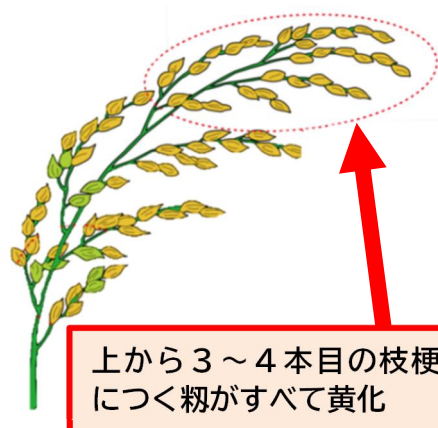


刈り遅れに注意！適期収穫で品質向上

- 梅雨明け以降、非常に気温が高い状態が続いており、
水稻の出穂期は例年より3～4日程度早まっています。
- 今後も高温で推移する見込みで、成熟期も早まることが予想されるため、**ほ場を確認して適期収穫**を行いましょう。

1 収穫判断の目安

- ・収穫適期は穂の上から3～4本目の枝梗につく籾がすべて黄化した頃で、**籾黄化率85～90%**です。
- ・収穫時期が近づいたらほ場に入って、**籾の黄化を確認しましょう。**
- ・気温が高く推移すると登熟日数は短くなります。**出穂後30日を過ぎたら**いつでも収穫できるよう準備しましょう。



高温が続いた場合の早生品種の成熟期の目安

出穂期	7月20日	7月25日	7月30日	8月5日
成熟期の目安	8月20日	8月25日	8月30日	9月6日

※出穂期は出穂すると思われる全茎数の40～50%が出穂した日。

※成熟期（目安）は日平均気温（東近江アメダス）の積算温度が950℃を超えた日。

ただし、8月1日以降は平成3年から令和2年の平均値に3℃を足した値。

2 収穫までの水管理

- ・**落水時期の目安は収穫5日前**です。早期落水は登熟悪化、品質低下につながります。
- ・本年は高温少雨が長く継続しており、**十分に湛水できておらず、水不足となっているほ場が散見されます。**ほ場条件に応じて、収穫作業に支障のない範囲で落水時期を遅らせて、**生育終盤まで稲の活力を維持させましょう。**



熱中症にご注意ください！！

予防のポイント

- ①暑い時間帯の作業を避ける
- ③単独作業を避ける

- ②こまめな休憩と水分補給
- ④熱中症対策アイテムの活用

次回：9月5日頃発信予定